

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	システム監査	
科目基礎情報							
開設学科	ITスペシャリスト科		コース名	システム専攻		開設期	後期
対象年次	3年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		開講時間			授業形態	座学
教科書/教材	世界一わかりやすい リスクマネジメント集中講座 勝俣 良介著 オーム社						
担当教員情報							
担当教員	中西真也・兒玉奉恵			実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア		
学習目的							
基本情報技術者試験はIPAが主催する国家資格の一つであり、高度IT人材となるために必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に付けたことを証明する資格である。本資格はIT業界で開発者として働いていくために最低限必要とされている資格であり、遅くとも入社後3年目までには取得を推奨していることが多い。 本講座では基本情報技術者試験の午前試験(150分)と午後試験(150分)が合格できるように対策を行っていく。							
到達目標							
まずシステム監査の意義を理解し、監査の目的や対象領域について学ぶ。そして、リスクマネジメントについて実例を交えながら学習することにより、システム監査の全容とリスクマネジメントの理解を深めることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	まず、システム監査の概要を把握し、その役割や目的把握する。次に、対象領域、監査基準、ITガバナンスとの関連、推進体制を理解する。さらに、この講義の中心となるリスクマネジメントの内容に移り、リスク分析、対応の決定、判断基準等を理解するために身近な例を取り、各自での演習と教員のフィードバックを実施する。終盤では論理思考の利用や企業の事例を交えた講義を行い全体のまとめとする。						
注意点	この授業では、普段の授業態度や提出課題を重視する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。自分でも、情報を収集し、最新のICTシステムに関する動向について調べる。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	0%					
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回) 1回(2)時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	システム監査の意義			システム監査の必要性や役割、目的を理解する			
2回	システム監査基準の改訂の歴史			システム監査の目的や対象領域、監査基準の変遷について理解する			
3回	ITガバナンスについて			ITガバナンスとシステム監査の関連について理解する			
4回	システム監査の推進体制と手順			システム監査の推進体制と手順について理解する			
5回	リスクアプローチ			システム監査におけるリスクアプローチについて理解する			
6回	リスクマネジメントの概要			リスクマネジメントの全体像について理解する			
7回	身近な例でのリスクマネジメント			身近な例を通してリスクマネジメントの理解を深める			
8回	リスク分析演習			リスクマトリックスを用いたリスク分析ができる			
9回	リスクアセスメント・対応			リスクの優先度、対応の決定方法について理解する			
10回	企業のリスクマネジメント			企業におけるリスクマネジメントについて理解する			
11回	リスク分析の判断基準			リスク分析の判断基準について理解する			
12回	リスクの洗い出し			リスクの洗い出しにおいてMECEや業務フローの活用について理解する			
13回	中小企業のリスクマネジメント			情報セキュリティリスク、環境リスク、ベースラインアプローチについて理解する			
14回	ERM			ERM(Enterprise Risk Management)について理解する			
15回	大企業のリスクマネジメント			事例を交えながら大企業のリスクマネジメントについて理解する			